

西丸震哉記念館 2017 年度企画展

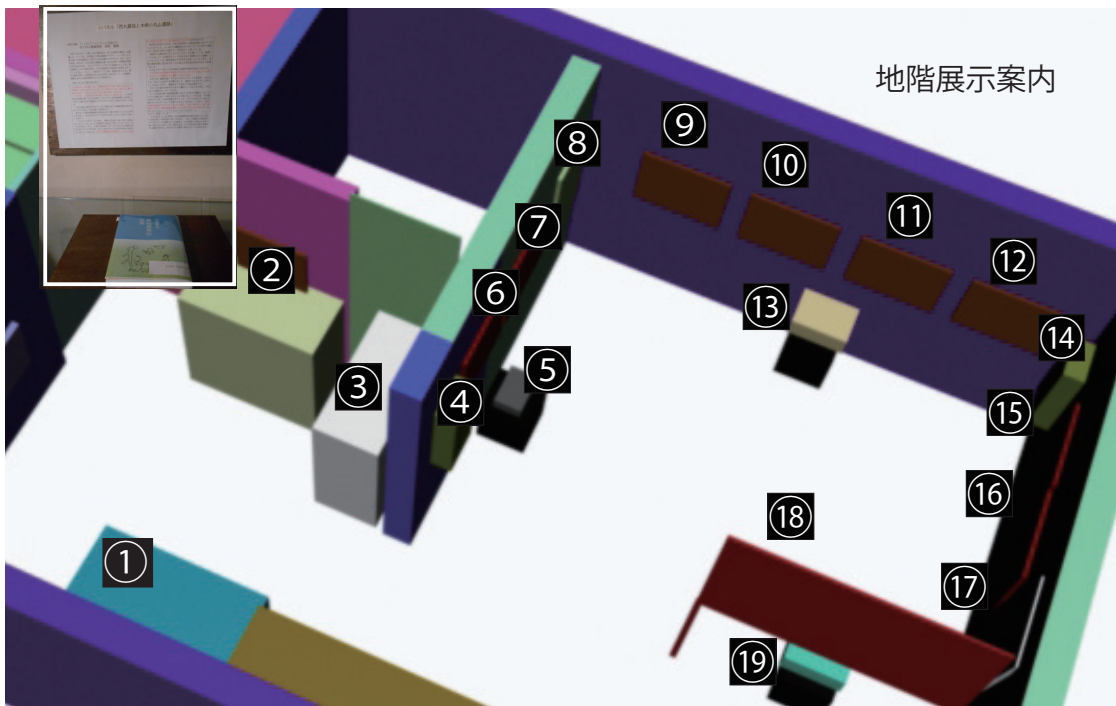
長野県最古・東日本最古級

木崎小丸山遺跡と西丸震哉

原始感覚による地域研究や人類史

会期：2017 年 4 月 29 日（土）から 10 月 30 日（月）

2016 年 5 月、記念館敷地内での同志社大学考古学研究室（松藤和人教授）の木崎小丸山遺跡学術発掘調査で 8 万 6 千年前の旧石器遺跡であることが研究結果からわかり、5 月下旬には『長野県木崎小丸山旧石器遺跡の研究』が発行されます。これは、西丸先生の「尾瀬」での地域研究や『ぼくの人類食物史』の「リス氷期に旧人類が渡来し、最終間氷期に山地に拡散し」10 万年前以降には我々ホモサピエンスに先立つ旧人類が、この地（西丸震哉記念館）まで到達した可能性を指摘する仮説であり、2009 年から西丸震哉記念館が取り組んだ地域研究・遺跡調査が実を結びました。



地階展示案内



1 階展示（8 万年前頃の石器類と地層火山灰試料）



屋外展示施設 3
(1：重要石器のレプリカ、
2：石器包含 Va 層の地山)

- ①パネル『尾瀬（原始感覚に基づく西丸流地域研究の視点）』
- ②パネル『西丸震哉と木崎小丸山遺跡』
- ③木崎夏期大学遺跡小丸山地籍
- ④中部日本のナウマンゾウ化石・遺跡
- ⑤鳳来寺松脂岩等標本
- ⑥木崎小丸山遺跡の発見の経緯
- ⑦木崎小丸山ロームと更新世人類の痕跡
- ⑧屋外展示 1 『木崎小丸山遺跡速報版』
- ⑨木崎小丸山遺跡の研究 1 - 調査経緯
- ⑩木崎小丸山遺跡の研究 2
- ⑪木崎小丸山遺跡の研究 3
- ⑫木崎小丸山遺跡の研究 4 - 総括（松藤教授）
- ⑬本調査出土石器類レプリカ
- ⑭屋外展示施設石器類と層序
- ⑮屋外展示施設解説
- ⑯木崎小丸山遺跡と屋外展示施設
- ⑰2016 年度 全国科学博物館等助成事業最終報告概要
- ⑱木崎小丸山遺跡発掘出土・表面採集石器・石片類『杉原コレクション』写真パネル
- ⑲ Vc 層出土の安山岩剥片類「飛来か持ち込みか？」